

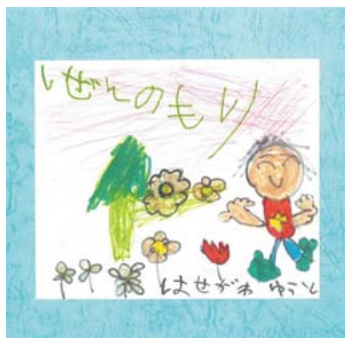
いろいろな分野で頑張っている
市民の皆さんを紹介します。

トピックス

津っな人

昨年開催した第1回津市手づくり絵本コンクールには228点の応募がありました。入賞した8作品のうち、一般の部（高校生以上）とこどもの部で最優秀賞を受賞したお二人を紹介します。

なお、最優秀作品は市立図書館にありますので、ぜひご覧ください。



絵を描くのが大好き

長谷川雄都くんは、夏休みに市主催の「手づくり絵本教室」に参加し、出品しました。「学校でも家に居るときでも、時間があると絵を描いていて、気付くと2時間近くたっているときもありますね。本当に絵を描くのが楽しいようです」というのは母親の佳子さん。



長谷川雄都くん（高茶屋小1年）

タイトルは「いせんのもり」。主人公の「おじさん」が散歩していると、木が少なくなっていることに気付き、みんなで力を合わせて種をまき、自然を取り戻そうとする話です。主人公の胸には星印があって、実は雄都くんだそうです。「去年の夏はとても暑かったし、地球温暖化という言葉は何度も聞いたから。自然が減っていたり、ゴミが増えていたり、環境が少しでも良くなってもらいたいです」と思いを絵本に込めています。

世界で一冊、手づくり絵本

今西米子さん（長岡町）



絵本は孫へのプレゼント

孫に絵本をプレゼントしたいとの思いで始まった今西米子さんの絵本作りは、8年目を迎えます。当時から同じ絵本講座に参加し、今ではお孫さんに贈った絵本は23冊にもなるといいます。「小学生になるくらいまでをめどに、毎年絵本をプレゼントし、

今は2歳の孫のため、3冊目に取り組んでいるところです」

お孫さんが主人公として登場し、最終ページには今西さんからのメッセージが添えられている手作りの絵本は、本人よりも両親が喜んでくれるといえます。今回受賞した絵本「みいちゃんのパラソル」は、ジャングルを描きたいと感じたことからワニを登場させ、お孫さんであるみいちゃんとのやりとりが楽しい作品に仕上がっています。

